

NTT労働組合・退職者の会大阪支部協議会会報

摂河泉の目

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！

2016年7月号(通算104号)

NTT労働組合退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 中井 秀禮
編集責任者 藤 恒 数隆

〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73
コミュニティプラザ大阪内
Tel.(06)6451-8100 Fax.(06)6136-8126

参議院議員二期目の

石橋みちひろ

新たな出発



歩いて歩いて 安否確認の 大切さを現退一致で確認する

石橋みちひろ大阪府下得意票一覧

区分	第22回 参議院選挙	第24回 参議院選挙	比較
得票数	150,113	171,486	◎
政令市計	1,793	2,311	◎
その他市計	3,608	4,173	◎
町村計	169	182	◎
計	5,570	6,666	◎

特徴的な区市町の得票比較 ※(堺市南区分別)

区分	第22回 参議院選挙	第24回 参議院選挙	比較
港区	36	96	◎
住之江区	89	72	▲
堺市	541	573	◎
(南区)	142	127	(別▲)
東大阪市	254	373	◎
枚方市	426	398	▲
寝屋川市	172	136	▲
河内長野市	141	89	▲
千早赤阪村	2	0	▲
和泉市	122	169	◎
豊中市	263	329	◎
高槻市	333	322	▲
岸和田市	114	131	◎
池田市	80	87	◎
吹田市	281	271	▲
門真市	31	38	▲
交野市	106	86	▲
茨木市	163	171	◎



石橋みちひろ参議院議員、 二期目の新たな出発

第二十四回参議院議員選挙結果、組織内最重点候補「石橋みちひろ」は、「得票数：一七二、四八六票」を獲得し見事当選を勝ち取りました。
この結果は、退職者の会会議員及び会議員家族のご支援と協力の成果であり心からの敬意と御礼を申し上げます。
その原動力は、「ブロック委員及び幹事会」の二年半に渡る粘り強い活動と更には、「現退一致」の地道な歩いて歩いての「安否確認」活動「スマホと足で稼いだ汗の結晶がもたらしたと考えます。

一、第二十四回参議院選挙開票が行われた結果、組織内最重点、比例区「石橋みちひろ」の当選、組織内最重点候補京都選挙区「福山哲郎」、千葉選挙区「小西洋」、滋賀選挙区「林久美子」は惜敗した。更に、大阪選挙区「尾立源幸一」は、おおさか維新の会の巻き添えを受け敗北した。
今の大阪の市民、府民は、身を守る政

策を掲げたり、行政の無駄文化切り捨てを打ち出す政策に関心を集めている。
六月四日(土)の政治学習会の席上も、吉富講師が反対だけでは今の大阪市民、府民は、納得しない。おおさか維新の会政策には、常に「身を守る政策」の提案を打ち出しているのが現状である。実現するかどうかは別問題。市民、府民は、耳の片隅に常に残っているようなこの講演を思い出している。
今回の選挙戦での基軸は、クラシニコフに繋

がる選挙活動として、情報労連大阪地区協議会、大連連の要請にも積極的参加し、一定の任務を果たしたと判断するが今後、各組織において総括なり、提案される考え方に向けて積極的に議論に参加することとする。

なお、連合推薦の民進党候補は、選挙結果、前議席の四七議席から▲二五議席減らし三三議席の獲得に留まった。一方、自民党は五六議席を得、公明党と合わせると七〇議席となり、改選過半数を大きく上回った。民進党は、いわゆる改選勢力での参議院の三分の一確保阻止を掲げ、選挙戦を闘ったが、それを許す結果となった。しかし、世論は自民党の政策に賛同しているのではなく野党のたらいに釣られ先が回って

石橋みちひろの最新確定投票数結果報告

重点候補 確定投票数結果

1.比例区

当選 石橋みちひろ 171,486票 9位
民進党:全国で比例区は、11名が当選しました。
連合推薦12名でしたが、石橋みちひろを含め8名が当選となりました。
①安否確認を軸として、現退一致の取組が、如何に大切であるかを再認識した。
②連携と信頼の絆が強まった。

2.大阪府下で見る「石橋みちひろ」の200票以上の得票状況

①府下 大阪市内1,738
堺市内573、豊中327、吹田271、高槻322、枚方398、八尾205、東大阪373、その他2,459
合計6,666票(3年前5,570票)

3.NTT労働組合重点候補の選挙区別結果

当選 京都選挙区 福山 哲郎 389,707票
当選 千葉選挙区 小西 洋之 472,219票
落 滋賀選挙区 林 久美子 291,290票
参考 落 大阪選挙区 尾立 源幸 347,753票

いるので「政党支持率、内閣支持率も自民・公明が発表している内容とは異なっている。アベノミクスの支持調査」においても多くが賛同しているわけでもない。
民進党は、反対のための反対と報道されている現状、「誠」の政策を国民に見せるように提起し続けること以外にないと判断することがどうだろうか。
また、与野党一騎打ちとなった三の一人区で、野党候補は二人の当選と関しても、共産党を利する闘いになっていないか、十数年前の「社会党と自民党」の連立を思い起こし、危険を発信する声も多く聞く。今後の野党共闘も十分な分析を忘れてはならないと思う。全国総会において、今回の総括を行うことから、会費の方々から待っているところです。

参考

- 今回の参議院議員選挙について、連合は、事務局長談話として以下の内容を提起している。
1.民進党は2016年3月に維新の党と合流し、民進党を結党したが、政策や党名の浸透に立ち遅れ、一強多弱政治からの脱却を求める国民の思いを受け止める受け皿とはなり得なかった。
また、事実上野党候補を一本化した32の1人区において、接戦を勝ち抜いた選挙区が複数あったものの、保守基盤を崩すには至らず、取り組みの検証が必要である。
- 連合は今回、比例代表選挙に、非拘束名簿式となつてから最多となる12人の組織内候補を擁立し、組織を挙げての闘いを進めた結果、8人の当選となった。12人の候補者名での得票数は約211万票で、2007年に獲得した過去最多の約182万票から28万票を超える増となった。この結果をすべての働く者のための政策実現に向けた、力の発揮につなげていく。
- 今回の投票率は54.70%前後となる見込みである。さらに、今回の選挙から、選挙権年齢が18歳以上へと引き下げられた。これまでわが国において欠如してきた主権者教育が、選挙権年齢の引き下げにより焦点が当てられたことは大きな前進であるが、今後、さらなる推進が求められる。
- 厳しい状況の中で連合の組織内候補ならびに推せん候補を支援していただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。連合は、今回の選挙結果を受け止め、引き続き、社会に渦巻く不安や不満、さらには国民の多様なニーズを丁寧に拾い上げながら、広く社会から共感を得られる政治活動・労働運動を構築していく。

雑録六記

参院選を振り返り
▶今までの日本の選挙は、六五歳以上が総人口の四分の一を占めたシルバー民主主義に傾き、若者達は脇役だった。

▶しかし今回六月二二日に公示された国政選挙から「二〇歳以上」から「一八歳以上」に引き下げられ有権者二四〇万人の若者達が選挙に加わって来ましたが、このことは普通選挙が認められた一九四五年見直し以来約七〇年振りの参政権拡大の事です。仲間入りした若者達、自らの将来の為にハッキリと意思を示したのか…日本の政治にもたらした影響はどうであったか考えさせられる。
▶「アベノミクスを最大限にふかす」を参院選の焦点にこの道を進んで行こうと訴えた安倍首相、前回の解散時にも使ったとは「この道」とはどんな道なのかハッキリしない。にもかかわらず、陣営固めのため若手の選挙区無所属当選者、一度離党した人を又入党させることで自民党は一二議席を確保二七年振りに単独過半数を回復するとか。
▶私達はこうした実情を見逃すのか！許すべきでない。にもかかわらず選挙後の世論調査では内閣支持率、改選論議に期待するが上昇五三%から七〇%支持率と報道された。
▶若い先短くなっていく人生ですが、これから将来を担う若者達と共に納得する一票を投じれる運動を進めていきたいとおもっています。
▶今回の参院選の結果は、無念が残るが「石橋みちひろ」当選は大きな喜びです、今後国会での活躍に期待すると共に、私達も私達の目的とする「ゆとり、豊かさ、社会的公正」を求め頑張って歩もうではありませんか。

KK 記



「2016年沖縄ピースとーじ」に参加して

恒久平和の実現に向けて、次世代に繋ぐ新たな第二步として、メインの結団式が、過去は変えられない、未来は変えられる事を、情報労連の結団式では、「石橋みちひろ」必勝

に向けて、全員で確認し、一日目は終了。翌日、嘉手納基地周辺行動では、F15戦闘機が爆音をまき散らしひっきりなしに飛んでいきます。「な

き、行進の疲れもふっ飛びそうですが最終日に余力を残そうと踏ん張る自分がいます。戦跡の美見では、悲惨な戦争を目のあたりにしま



終わらず、全ての元区は「基地」にありを実感しました。

初沖縄行動参加でした。
支部協議会 副会長
(支部協議会平和担当)
西脇 光廣(河内フロック)

自分の目で見て肌で感じたことを少しでも語り部として伝えていきます。

支部協議会 事務局次長
辻井 博美(なにわフロック)

全国交流集会の報告

平成28年
5月11日~13日



支部協
池尻事務局次長

退職者の会全国交流集会(五月一日~三日・熱海「後樂園ホテル」)
中央協・支部協等から一三三人が参加し、役員育成と相互交流を目的に、新人役員を対象に三日間の日程で行われた。
①熊本地震の被災報告(熊本東地区協・南幹事)②政治学習会「直近の国会情勢と社会保障政策」(石橋みちひろ「参議院議員」)③NTT労組の現状と課題(中央本部・相馬副委員長)④

なにわフロック
本田 節雄

大阪から北摂(一名)、河内(二名)、泉州(一名)、

基調報告「NTT退職者の会の概要と当面する課題」(中央協・川辺事務局次長)これらの講演や報告を受けて分散会(六グループ)が開かれた。「会と会員のコミュニケーション」などをテーマにフリー討論。私

のグループでは、イベント等について一般会員の行事参加が減少している事が悩みとなっている。
帰り十国峠へ足を伸ばし、富士山見学としたが、雲があり一部しか見えなかったが、帰り道、新幹線から、残雪の残る富士山を堪能できた。

なにわ(一名)と事務局から池尻事務局次長が同行され、全国交流集に参加しました。

事前に全国交流集に必要事前研修が実施されましたが、初めて参加する方も全国から参加される方々も同じNTT退職の会であり、馴染むに時間はかかりませんでした。

内容としては、一日目は、会長挨拶の後、熊本地震について熊本県支部協の南幹事から被災報告及び政治学習会(石橋みちひろ特別講座)、特別講演(NTT労組の現状と課題特別講演)があり分かりやすく説明され良く理解できました。

二日目は、基調報告(NTT労組退職の会の概要と当面する課題の報告)があり、先人の苦労があつて現在の退職者の会が出来ていることに感謝と共に組織の重要性を改めて感じました。

また、分散交流会(六フロック(二〇数名程度)については、自己紹介、支

部協構成、会員数と役員数、主な活動(機関紙定期発行と手渡し活動、サークル紹介、バスツアー、いきいき講座活動等)等を発表しました。が、地域によっては、会員様に機関紙手渡し活動一〇〇%を実施し安否確認をされていることに衝撃を受けました。大阪も手渡し活動促進を実施しておりますので、私のエリアでも一〇〇%対応を

実施して会員様の安否確認とコミュニケーションを図りたいと感じました。また、地方では幹事の後継者がいない、長期間幹事を継続されている苦労話等も印象に残りました。

最後に、全体的に元気で趣味を持った方達ばかりで圧倒されましたが、この交流会を通して、いろんなことを勉強させていただき有難うございました。
今後の活動に生かしていきたいと思います。

泉州フロック
登 文男

五月一日から三日熱海の後樂園ホテルに於いてNTT労組退職者の会全国交流集に参加させて頂き充実した二日間を過ごすことができました。まずは先ずは感謝申し上げます。初日は午後二時から政治学習会とNTT労組の現状と課題について二日目はNTT退職者の会の概



が、いきいき講座は大阪だけでした。今年度の内容を説明しました。

会報の手配り、お元氣ですかの電話をして、会費とコミュニケーションを大切にしている支部が多くありました。只エリアが広く、喜寿、米寿等に持参するにあたり問題は沢山あり大変な日でした。

今回参加して、有意義な時間を過ごしました。

河内フロック
溝田 正一

五月一日~三日熱海「後樂園ホテル」で開催されました。一日目の政治学習会「直近の国会情勢と社会保障政策」では石橋参議院議員が、わかり易く時には熱弁を振るわれ話されていました。二日目の午後からの分散会では各支部協の状況等が話し合われた。各支部協の特徴は、電友会支部協退職者の会が合併(山梨県支部協)、お元気コールの実施(千葉、山梨、滋賀支部協)、お元気訪問の実施(長野、新潟支部協)、新規加入の懇親会の実施(岩手、大阪支部協)、安否確認カード配布(福岡支部協)、我が支部協が来年度導入予定の定年制については(埼玉、滋賀、奈良支部協)が実施している。以上は第三班での議論状況でした。

今回参加して全国の状況が分かり有意義な時間になりました。

河内フロック
林野 泰子

五月一日~三日熱海「後樂園ホテル」での全国交流集に参加しました。行く前は少し不安でしたが、御一緒する皆さんとち解けて楽しい三日間を終える事が出来ました。

まず最初に「石橋みちひろ」さんのパワフルな話振り九〇分間休むことなく今の政治状況をわかり易く話されていました。直接話を聞く事は大切な思いです。次に分散会を感じたことはどの支部協も悩みは共通していると言う事です。会費がイベント等に出て来ない、参加者が固定化されている、良い意見があれば教へほしいと言う話に私も同感でした。参考として目新しいサークル活動にチャレンジ(アロチや小物作り)お元気コール等。最後にお世話いただいた皆さまにお礼申し上げます。

「愛のカーナビ」がとらぞいほした

(2016年4月1日~2016年6月30日現在)

カンパ会員・家族 403名
総額 610,000円

カーナビが頂いた方には、「愛&ハート」の小冊子を摂河泉OBに同封しております。

折鶴「折り」のとらぞいほします

7月4日会員20名が、会費・家族から寄せて頂いた折鶴を千羽ごとに作成、本年の各平和行動に持参して心を込めて、献鶴いたします。

折鶴協力会員・家族 914名
折鶴数 13,519羽

北摂フロック
定本 津多子

全国交流集に参加して、退職者の会の歴史、組合との関わり等がわかって大変良かった。

分散会では、総会(懇親会)日帰りバス旅行、グラウンドゴルフ等の行事は何処の支部もしていました。

熊本地震カンパ趣意書に賛同いただいた会員氏名

カンパ総額	2,465,515 円	カンパ賛同者数	827 人
-------	-------------	---------	-------

河内ブロック

英二 泰子 夫子 定裕 晴世 善嗣 清司 正則 寛生 泰隆 昭一 利行 建夫 子
西野 林野 半埜 福田 松田 南岡 村尾 村上 山形 吉居 太口 東立 足立 池之側 三千雄 三ツノ 幸雄 幸治 捨博 隆博 眞佐 上妙 清美 茂男
一博 邦夫 子子 子子 禮弘 忠み 芳枝 憲男 貞廣 光雄 幸聖 晃文 博枝 子代 文代 春代 俊郎 昇一 博一 泰子 三子 三明 文継 好香 佳悦 次
宮本 竹下 平田 東山 中井 奥村 掛川 厨子 鷺谷 池尻 西脇 泉 今井 大川 岡本 小野 桂木 金坂 田白 石新 谷武 田寺 寺島 中垣 内中 林原 樋原

寿昭 哲三 精二 政春 匡江 匡代 子弘 子隆 章武 子弘 子敏 幸幸 子子 子子 子紀 啓一 啓三 子子 幸幸 二勝
上田 上野 上野 植村 植村 内田 宇都 梅田 梅本 宇山 子占 占部 惠阪 大谷 大津 大西 大野 大野 大東 大本 岡田 小川 奥野 小幡 谷戸 粕谷 加藤 貴井

河井	利夫	三幸	正子	昭夫	雅子	重利	唯行	眞美	啓	幸	晴子	トシ子	純子	誠	秋夫	勝次	力	男	昇	史朗	賀	武	司	利夫	芳昭
川原	テ	勝	正	昭	雅	重	唯	眞	支	晴	トシ	純	秋	勝	俊	武	史	賀	武	康	利	芳			
木口	岸	岸	喜多	田	北野	木塚	木塚	木村	木下	久場	香品	小林	小林	小山	齋藤	齊藤	佐古	佐々井	笹田	鯨嶋	篠原	清水	清水	下野	

照子 久夫 憲子 明子 種夫 芳子 賢一 忠三 悦子 社陽 造五十 幸子 明三 衛晴 子子 孝子 勇之 德昭 正幸 守男 輝御 民雄 康三 正代

所川 白井 新谷 杉本 園元 傍嶋 田岡 高橋 高橋 田川 渾川 竹本 田隅 田中 田中 田邊 谷口 端田 村本 田塚 津田 土代 出羽 道井 德井 德島

德永 富田 中井 中尾 中尾 中川 仲川 中瀬 中田 永田 中谷 永松 中村 中村 中村 中森 中山 夏野 西川 西島 西島 西田 西田 貴名 根上 野上 野田 野田

昭男 衛 清子 猛輝 美子 樹 良子 孝二 男和 稔 勝 司 幸 晴子 康 洋 信 祥 夫 義彰 銳光
正雄 則子 美三 昌 良 孝 義 稔 直 晴 康 洋 信 祥 達 義彰 銳光
橋詰 橋詰 長谷 泰 泰 廿日 岩 服部 馬場 濱口 林 林 林 田 原 見 樋口 樋口 平井 平田 廣田 廣野 福井 福井 福惠 福島 福本 藤基 分才 細江
詰 詰 長谷 泰 泰 廿日 岩 服部 馬場 濱口 林 林 林 田 原 見 樋口 樋口 平井 平田 廣田 廣野 福井 福井 福惠 福島 福本 藤基 分才 細江

英夫 好美子 寛子 良昌 昭拓 悟子 民子 好弘 俊春 知夫 恒夫 花子 秀純 一純 利雄 寛子 政治 壽男 友義 繁
前久保 前田 牧 正木 増田 松谷 松野 丸 丸 市 水口 三井 三並 南 南野 美馬 宮崎 吉井 向井 村上 森本 八代醒 安井 柳本 矢野 山内 山賀

清博 賢一 實昭 男三 秀台 一雄 子一 惠一 裕勤 夫悦 子松 良司 讓司 一博 博二 夫正 彦
悦子 正三 秀隆 多津 文男 一惠 靖夫 悦子 美恵 子 一博 善一 輝一 武彦
山口 山下 山田 山田 山西 山本 山本 吉井 吉岡 吉川 吉田 米谷 和阪 和田 竹下 田中 堀 堀井 芝田 木村 芝本 伊藤 中野

泉州ブロック

幸三功 嘉子平 求一夫 肇和夫子 一元 治敏 義勝 喜治
松浪 松元 丸山 水口 溝端 三谷 三原 宮野 三好 向井 森口 森口 森脇 八尾 山尾 山口

山崎謙一郎
山田忠夫
山田照美
山田三三
山田雙三
山田由高
山野慶次郎
山本和子
吉田次男
吉田和夫
吉見修
寺内敬子
平田秀実
石野三子
宮本敬一
川崎孝子
藤永萬一
有本正行

杉野 淡田 櫻井 佐脇 清水 谷口 中井 中村 南部 西田 登 服部 福西 藤田 源 宮下

アキエ 正次 政代 卓夫 佑吉 千波 好子 美智子 浩市 節子 栄一 冬子 常男 稔子 計三

山中 竹下 平田 松本 東 安達 安達 油田 池側 生駒 石田 石田 石原 市道 一柳 一筆

稲田	今口	岩本	植木	上中	上本	氏本	円句	大石	太田	大西	大野	岡田	岡本	奥地	黒田
一裕	義雄	玉代	宣雄	勉	紀代美	秀代	文修	美千子	正明	カズエ	智恵子	安弘	徹也	ヤキ子	

奥田 益子
小野原 三四郎
葛山 幸子
加藤 正利
上江 久子
狩谷 秀雄
川崎 文子
川本 和子
岸本 幸夫
木村 幸文
木元 孝文
清原 千代
久保 晃
黒田 小夜子
黒田 美登利
小池 正弘

秀雄 實枝 夫穗 治子 和志 忠一 幸子 正晴 忠治 敏子 忠子 忠子
小松 小山 坂井 目 佐藤 里中 重田 下田 白木 菅野 杉田 瀨川 瀨戸 竹川 巽 田中

田中 谷井 田村 辻 辻林 出来 豊田 長坂 中嶋 中野 中本 中山 名田 南部
 次子 弘 洋子 道子 恒子 正好 卯 稻子 子恒 孝子 英治 雄義
 操 桂子

西木 西田 西仲 西村 根来 畑江 八野 濱本 板東 廣崎 藤岡 本多 益田 松川 藍川

北東プロダクション

健次 隆光 晃正 浩二 満代 勝子 子昇 博雪 子恵 涉子 子淳 子啓 哲夫 信楨 子知子 子泰 行司
東 足立 足立 安積 有方 池上 池上 池田 池田 きよ 池田 池本 石角 泉 磯川 市川 市川 出原 伊東 伊藤 稲葉 美知子 井上 井上 井上

清 英武	好 明憲	子 憲二	久 律子	庸 泰子	子 正二	工 恭子	正 清人	子 美子	利 昭子	昭 賢子	司 正紘	正 健四郎	彰 愛子	子 征士	義 高義	代 昭代	一 郎					
今井	今井	今西	内野	内海	浦部	老田	大串	大久保	大塚	大附	岡本	興田	興野	興村	長田	面	尾張	恩澤	鹿島	梶村	勝城	金木

千代子 博義
美代子 同子 康栄 浄可 幸子 裕一 源一 敏子 雅英 幾子 晃夫 正子 清三 停 弘治 廣美 猛 孟 重夫 三宜 善友
狩野 鑛田 蒲田 川嶋 川手 北井 木下 木村 桐山 草薙 窪田 幸田 琴寄 西條 濟藤 坂井 坂井 佐々木 笹倉 本 定 佐藤 佐藤 澤田

堀足健一郎	堀見健一	堀見純子	苅田淳壽	清水政雄	清水信明	杉田慶可	杉原己芳	杉本幸一	角野美利	陶山慶次	陶山操	関根万里子	相井和人	大門千鶴子	高橋紀一	高橋江子	高橋修三	高橋富英
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-------	------	-------	------	------	------	------

博輝 進夫 武三 和子 榮子 竜彦 恒雄 浩一 雅一 健一 照男 義弘 清敏 幸子 良樹 和彦 貞二 伸太郎
芳輝 治夫 三修 和子 榮子 竜彦 恒雄 浩一 雅一 健一 照男 義弘 清敏 幸子 良樹 和彦 貞二 伸太郎
田中 田中 塚田 辻 辻 津田 鳥 東内 豊山 直江 永井 中川 中川 中川 中嶋 中野 中野 永村 中村 中本 西尾 西尾 西尾

西村 能一 橋本 畑野 旗谷 濱田 濱田 濱谷 林 林 樋口 藤澤 藤田 古川 朴井 堀田 前田 牧田 町田 松田 松本 松山 眞谷

正己 良子 一子 耕子 須美子 須美子 忠治 幸雄 アヤ子 孝好 久隆 幸子 洋子 光宏 美子 明良 静美 子喬 諒教 朝香

三浦	水	水	水	味	味	三田	追津	三並	三村	牟田	村上	森	森井	森岡	森川	森下	森政	八木	藥師	安尾	安田
琴	裕	嘉	リ	公	徳	順子	澄子	輝夫	照子	倫文	隆弘	英樹	韶子	伊津美	英子	英孝	實	武	子	和	中

翠吉勝行和子昭彦昌次高俊直光稔昭幸孝雄清子禮子陽数隆勝由博和えき初美
音勝和子昭彦昌次高俊直光稔昭幸孝雄清子禮子陽数隆勝由博和えき初美

北村 小山 佐々木 定本 高畑 竹村 谷 玉 辻 橋本 馬場 濱 樋口 宮田 森上 森下 福永

イベントの申込みは **06-6451-8100**
(大阪支部協議会) まで電話して下さい
受付時間：午前10時～午後3時30分

“亀山城址(丹波国) 散策と嵐山上流の蔵 『丹山酒造』見学”

募集人員 **40名(先着順)**

注：募集人員に達し次第締め切り

開催月日	2016年9月16日(金) 雨天決行		
集合時間	午前9時30分(厳守)… 出発10時00分		
集合場所	J R大阪城公園駅 解散 大阪駅付近		
会 費	8,000円(会員外9,000円) 当日集金します。		
行 程	亀山城址散策・トロッコ乗車・酒造会社見学		
注意事項	9月8日以降参加取り消しの方は、全額キャンセル料をいただきます。		

企画担当：河内・北摂ブロック委員会
当日の連絡：中村：090-1893-0766 森下：090-5959-2644

出雲大社 心霊スポットの旅

6月19日(日)～20日(月)の泊レクで楽しい旅をしました。
今回のバス1泊レクの担当は、北摂ブロック(榎本副会長)担当、一年ぶりの泊レク開催となり、企画内容も練にねっての出雲大社60年目の節目、お伊勢さんは、20年の節目と重なり新装なった本殿への旅路でした。総勢45名で、一般会員を優先とした行事とし、参加して楽しかったバスレクをモットーに運営しました。



本殿での全員集合

“心霊スポット出雲大社等めぐり”に参加して

6月19日～20日心霊の国めぐり泊旅行に夫婦で参加。天気は雨。ちよっぴり憂うつな気分です。バスに乗り。8:30分に出発。大江山麓の昼食までの4時間どうなるのかナと思いきや、世話役さんがおやつや飲み物を。またお手製のキュウリ漬け、ラッキョウ漬け等を配って頂きビール片手にガイドさんの説明を「ウン、ウン」と聞きながら満足感いっぱい。昼食時は雨も上がりホットする。後は松江城へ・・・ここは大変だった。ついた時は青空。汗をかきながら石段を昇りお城を見学して外に出ると大雨。傘もなく小降りになるのを待つこととなる。宿泊は玉造温泉。屋間雨に濡れた身体を十分温め癒して夕食。料理は沢山あったが世話人さん達の余興に圧倒され、見入って笑い転げてたら食べられなかったのは残念。翌日は出雲大社。一緒に回ったガイドさんの軽妙な語り引き込まれながら長い坂道を(400m)難なく歩け感謝。つぎに行ったのは水木しげるロード。以前来たときより観光客もほとんどなく寂しい気がした。帰りのバスは疲れが静かであった。19:00大阪着。途中立ち寄ったSAでどんどん増えたお土産を抱えながら、“じゃあ、お疲れ様。また来年”天候には踊らされたけど本当に楽しい旅でした。

北摂ブロック 佐藤 久美

悲しい思いが半分、再出発をどうするかは、民進党自身だ。国民から愛される政権は、必ず対案を出し(出しているが見えない)自民党勢力との闘いが必要である。「必要」と言えば第一九回大阪支部協議会総会まで二か月をきった。議案書の作成準備にも拍車がかかる。一年は早いものだがこの二年間、石橋に始まる。退一致の行動も汗を拭きふきの美戦が出来た。今後の危機管理作成に向け現退一致の作成を急ぐこととなる。議案書は、九月に会員の御手元に届けることとなる。いつ来るともれない怪物に向かって「滅災」のミニチュア作成を急がねばならない。



質問する河内ブロック川端君

れたと思う。講師の話に感銘へマイク設備の調整ができていない。
●北摂ブロック
松田 陽子
内容はよかった。メリハリがあり、理解しやすい内容である。
榎本 勝田
よかった。気を使った話し方で、もう少し深く掘り下げて欲しかった。

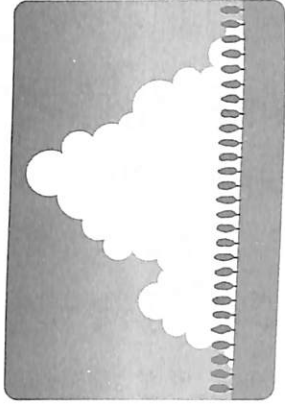
●なにわブロック
市川 隆
理解しやすく聴衆に興味を持たせつつ考えさせる「話術」はさすがである。ジャーナリストとして活躍され、その目を通して「橋下市政」を点検されたが、「大阪維新の会」の持つ危険な体質と「公明党」の関係は更に深堀してほしい。更には支持政党(旧民主党)現在の民進党の退潮と労働運動との衰退の関連性について、ジャーナリストとして、厳しい目線から問題提起して頂きたかった。主催者が嫌がる「講師」を目指して今後も活躍され、又、学びたいと思います。政治学習について、学習内容は聞いていてよかった。

尾崎 八生
大阪都構想は、昭和二十八年に自民党府議団からすでに提案されていたこと。大阪都構想の住民投票を反対していた公明党に創価学会等が、働きかけ実施することになったことなど質問事項
舛添都知事の政治資金に関する件。政治家に都合のいい報告内容であり、問題である。誰が見てもわかりやすい納得に行く報告書と明細、領収書にするべきである。義務付けになぜ出来ないのか疑問である。
堀井 剛
地道に活動することが大切である。この言葉が印象に残っている。民進党を支援する組織としての活動にもっと厳しさが必要である。

参考資料 吉富 有治氏
(ジャーナリスト)
誌、愛媛生まれ。金融専門誌、週刊誌の記者を経てフリーのジャーナリストに転身。地方政治・地方自治、原発立地地区などを取材。テレビ、ラジオなどで解説も。著書に『大阪破産からの再生』(講談社)、『橋下徹 改革者が壊し屋か!大阪都構想のゆくえ』(中公新書ウツシ)、『大阪破産』(光文社)などがある。

大阪支部協議会の動き(5～7月)

5月	第87回大阪地方メーデー	21日	電気通信共済会総会
1日	第8回事務局会議	22日	第24回参議院議員公示
6日	第7回北摂ブロック委員会	23日～25日	沖繩行動
8日	おだち源参議院議員事務所開き	27日	第4回危機管理マニュアル(手引)作成会議
6日	第2回いきいき講座		
9日	大阪退職者連合4役会議	7月	
11日	福祉・ボランティア会議	1日	第9回北摂ブロック委員会(大阪大空襲語り部)
12日	全国交流集会	4日	折鶴作成
13日	第7回泉州ブロック委員会	7日	第10回河内ブロック委員会(大阪大空襲語り部)
	第8回河内ブロック委員会	8日	第9回泉州ブロック委員会(大阪大空襲語り部)
	第6回なにわブロック委員会		
6月	第8回北摂ブロック委員会	10日	第8回なにわブロック委員会(大阪大空襲語り部)
3日	全ブロック委員会(政治学習会)	12日	参議院議員選挙投票開票日
4日	安否確認行動(現退一致行動)	14日	第4回いきいき講座
5日	大阪退職者連合集会		
7日	情報労連近畿地域協議会	15日	泉州・なにわ合同レク
8日	クラシノソコアリア実現集会	19日	(近江八幡水郷巡り)
9日	第9回河内ブロック委員会	20日	第12回事務局会議
10日	第8回泉州ブロック委員会	22日	第8回編集委員会
11日	第7回なにわブロック委員会	26日	第22回 平和行動(知覧)
	全国環境統一デー	28日	大阪退職者連合第4回幹事会
	(大阪南港野鳥園)	29日	夕涼み会(工房みさき)
12日	グループ連絡会 女性セミナー		
13日	安否確認行動(現退一致行動)		
	第10回事務局会議		
14日	第3回いきいき講座(泉州)		
	第7回編集委員会		
	平和事前学習会		
17日	第11回事務局会議		
18日	安否確認行動(現退一致行動)		
19日	連合クラシノソコアリア実現集会(厚別)		
	支部協主催 泊レク(玉造温泉)		



編集後記

摂河泉OB103号は、スケルトン方式封筒にした。評判は、ますますという声も聴く。スケルトン方式の主旨は、熊本地震からパ趣意書と折鶴の作成依頼を目的にした初めての試みだ。「目的」と言うこと「政治学習会」での高貴ジャーナリストの講演が参加者に大きな反響を与え、何時に帰るほど良い結果となった。「結果」と言えば、今回の参議院議員選挙で、喜びの「おたけ」が半分、再出

